

## クラウド ストライク ホールディングス A (CRWD)

【セクター】 サイバーセキュリティ

信買

【市場】 NASDAQ

信売

## 【企業概要】

セキュリティソフト大手マカフィーのCTO（チーフ・テクノロジー・オフィサー）を務めたジョージ・カーツ氏等が2011年に設立しました。クラウドベースのエンドポイント（企業ネットワークに接続するデバイス）セキュリティサービスを提供しています。2024年1月期の売上高比率はサブスクリプション（顧客の多くは年間契約の定期利用）が94%、プロフェッショナルサービスが6%です。地域別売上高比率は米国が68%、欧州・中東・アフリカが15%、アジア太平洋が10%、その他6%です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

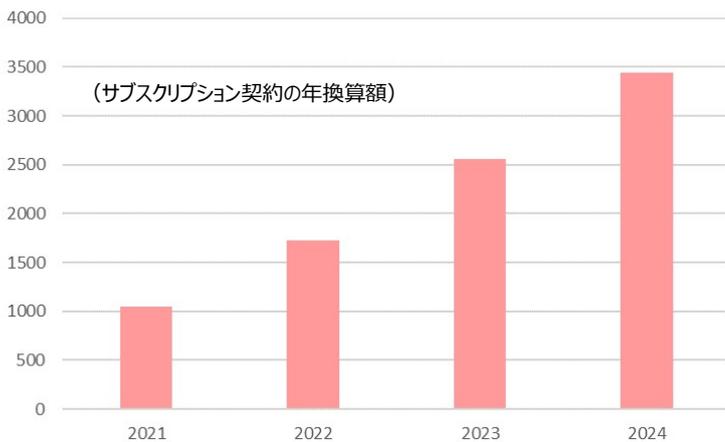
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
23.1期	2,241	368	1.54	0.00	6.2	-14.7	29.6
24.1期	3,056	752	3.09	0.00	-	-	-
25.1期（予）	3,927	940	3.75	0.00	13.1	32.6	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）会社資料、BloombergのデータよりSBI証券作成

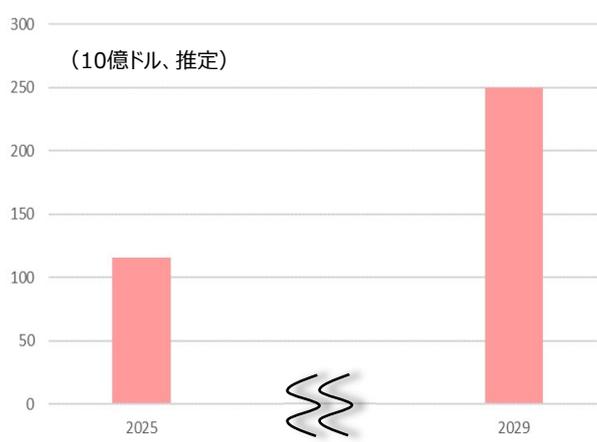
## 【主要指標】

ARR（百万ドル、1月末時点）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

AIネイティブ・セキュリティ・プラットフォーム市場規模



（出所）会社資料よりSBI証券作成

## 【会社の見方】

世界のモダンエンドポイントセキュリティ市場においてシェアNo1の同社が掲げるミッションは「We Stop Breaches（データ侵害を阻止する）」です。世界的にサイバー攻撃が拡大する中で、サイバーセキュリティへの需要が高まっています。同社のサービスプラットフォームは「クラウドストライク・ファルコン」で、次世代アンチウイルス、エンドポイントでの検知・対応、24時間365日体制のセキュリティエキスパートによる脅威ハンティングのサービスを提供しています。なお、同社は重要指標として、①ARR（サブスクリプション契約の年換算額）、②売上継続率を挙げており、業績や株価動向を占う上でこれらの指標の推移に関心が集まりそうです。なお、2024年7月に世界的なシステム障害を引き起こしたことを背景に同社株は急落しましたが、足元では急落前の水準まで回復しています（11/27時点）。

## 【見通し・注目点】

2024年8-10月期は売上高がサブスクリプションの牽引で前年比29%増の10.1億ドルとなり過去最高、EPSは同13%増の0.93ドルで市場予想を共に上回りました。ARR純増は同31%減の1.5億ドルでしたが、市場予想並みでした。11-1月期の会社予想EPSは市場予想を下回りましたが、会社側は2025年1月期の売上高とEPS見通しを上方修正しました（従来予想38.9-39.0億ドル→39.2-39.3億ドル、同3.61-3.65ドル→3.74-3.76ドル）。

## 本レポートに関するご注意事項

・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。

・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

## 手数料及びリスク情報等

・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりつく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。